



乙姫子安河原観音でラクダの子宝祈願



ラクダの繁殖を目的に札幌市のまるやま円山動物園から雌のフタコブラクダ「マサコさん」が熊本市動植物園の雄の「クロベエ君」のもとへやって来ました。11月10日から園で愛を育んでいます。待望のお嫁さんに飼育員の皆さんも赤ちゃんを!!と必死。そこでTKUの番組「若っ人ランド」が乙姫子安河原観音でのラクダの子宝祈願を企画し放送。



タレントの高村公平さんが、祈願の署名数が約3千件にのぼる人気の子宝の神様に特製のラクダの絵馬を供え子安川の石を動物園に持ち帰りました。

干し草ロールに描いて草原に親しみ

阿蘇草原再生シール生産者の会（市原啓吉会長）主催の「干し草ロールにアートしよう！」が11月8日、町古閑牧野組合の協力で同牧野で開催されました。催しは2回目ですが今年には地元の小学生をはじめ県内の子どもや保護者76人が参加しました。干し草は農家の手作業で積んで保存されていましたが、最近は機械でロール状にするタイプが増えました。



子どもたちは画用紙の何倍もある白いロールに思い思いの阿蘇の草原の絵を描き、昼食に野草を堆肥として育てたトウモロコシなどを堪能しました。

演芸見事！跡ヶ瀬秋祭り



神社の秋祭り前夜祭として恒例の「跡ヶ瀬村祭り」が11月22日あり、隣保班ごとの出し物を披露し大変喜ばれました。「したきりすずめ」の劇を披露した班ではあまりの上手さに舌を切られたシーンで見ていたお孫さんが大泣きする場面も。写真は小学生による跡ヶ瀬名物「安木節」で、名演技に公民館は終始笑いで賑わいました。

乙姫の技を学べ！地域と体験交流

乙姫小学校で第4回乙姫フェスタが11月9日開催され、地域の人たちに教わりながら「ふれあい体験交流」（茶道、竹細工、わら細工、お手玉、凧づくり）や、保護者による餅つきや豚汁のふるまいがあり世代間交流を楽しみました。午後は児童たちによる学習発表があり地元の人たちを前に練習の成果を披露しました。

